



As-me ESTELLE

## 平成28年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月13日  
上場取引所 東

上場会社名 As-meエステール株式会社  
 コード番号 7872 URL <http://www.as-estelle.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 雅史  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 羽生 達夫  
 定時株主総会開催予定日 平成28年6月29日 配当支払開始予定日  
 有価証券報告書提出予定日 平成28年6月30日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

TEL 03-5777-5120  
平成28年6月30日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期の連結業績(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期	34,000	0.7	1,146	10.5	1,047	△1.1	164	△77.2
27年3月期	33,778	△1.9	1,037	△54.0	1,059	△59.8	722	△56.5

(注) 包括利益 28年3月期 89百万円 (△80.9%) 27年3月期 468百万円 (△72.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
28年3月期	14.75	—	1.3	3.1	3.4
27年3月期	64.74	—	5.5	3.2	3.1

(参考) 持分法投資損益 28年3月期 一百万円 27年3月期 一百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
28年3月期	33,538	13,034	38.9	1,168.35
27年3月期	33,454	13,245	39.6	1,187.32

(参考) 自己資本 28年3月期 13,034百万円 27年3月期 13,245百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
28年3月期	1,844	△722	65	7,454
27年3月期	429	△259	△229	6,267

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
27年3月期	—	0.00	—	27.00	27.00	301	41.7	2.3
28年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00	267	162.7	2.0
29年3月期(予想)	—	0.00	—	24.00	24.00	—	—	—

(注) 平成27年3月期の期末配当は、当社株式の東京証券取引所市場第一部銘柄指定の記念配当3円00銭を含んでおります。

## 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	15,790	△3.2	210	303.8	200	203.0	△50	—	△4.48
通期	33,400	△1.8	1,360	18.7	1,260	20.3	530	223.2	47.51

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料14ページ「(5)連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期	11,459,223 株	27年3月期	11,459,223 株
② 期末自己株式数	28年3月期	303,133 株	27年3月期	303,083 株
③ 期中平均株式数	28年3月期	11,156,136 株	27年3月期	11,156,140 株

(参考) 個別業績の概要

平成28年3月期の個別業績(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期	28,567	1.5	1,256	△7.5	1,222	△4.4	318	△64.7
27年3月期	28,132	△4.2	1,357	△40.6	1,279	△48.6	901	△33.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期	28.56	—
27年3月期	80.82	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
28年3月期	33,063		12,881	39.0			1,154.67	
27年3月期	32,575		12,882	39.5			1,154.76	

(参考) 自己資本 28年3月期 12,881百万円 27年3月期 12,882百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想数値及び将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、経営環境の変化等により、本資料の予想数値または将来に関する記述と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析 .....	2
(1) 経営成績に関する分析 .....	2
(2) 財政状態に関する分析 .....	2
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
2. 企業集団の状況 .....	4
3. 経営方針 .....	5
(1) 会社の経営の基本方針 .....	5
(2) 目標とする経営指標 .....	5
(3) 中長期的な会社の経営戦略及び対処すべき課題 .....	5
4. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
5. 連結財務諸表 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(会計方針の変更) .....	14
(セグメント情報) .....	14
(1株当たり情報) .....	14
6. その他 .....	15
役員の異動 .....	15

## 1. 経営成績・財政状態に関する分析

## (1) 経営成績に関する分析

## (当期の経営成績)

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融政策などを受け、企業収益の改善により設備投資が増加し、雇用情勢も改善するなど概ね回復基調で推移しましたが、年度末にかけて進行した円高や海外景気の下振れ懸念などを背景に年度後半では不透明感が強まりました。また、個人消費においても、消費マインドは盛り上がりを欠き、伸び悩み展開となりました。

宝飾品業界においても、消費動向が弱含みで推移するなか、業界内の競争も激しく、依然として厳しい環境にありました。

当連結会計年度の業績は、売上高は、不採算店の圧縮による店舗数の減少がありましたが、販売促進活動などの強化により、前年並みの340億円（前年同期比0.7%増）となりました。営業利益は、売上総利益の増加により、11億46百万円（同10.5%増）となりましたが、経常利益は、前期の為替差益の計上が当期では為替差損に転じたことなどにより10億47百万円（同1.1%減）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、特別利益での投資有価証券売却益の減少や特別損失での不採算化した店舗の固定資産に係る減損損失の増加及び店舗の改装・閉店に伴う固定資産除却損の増加などにより、1億64百万円（同77.2%減）となりました。

なお、当期における当社グループの主な店舗展開は以下のとおりです。

セグメント	宝飾品		眼鏡
会社名	As-meエステール(株)	(株)BLOOM	キンバレー(株)
前期末店舗数	374	131	46
新規出店	20	4	7
閉店	△28	△40	△4
当期末店舗数	366	95	49

(注) (株)BLOOMの店舗数には、消化仕入契約に基づく百貨店等への出店を含んでおります。

## (次期の見通し)

次期の我が国経済につきましては、雇用情勢は引き続き良好な状態を維持するものの、景気全体としては先行きに対する不透明感が拭えず、個人消費は、引続き盛り上がりを欠くものと見られます。

宝飾品業界においては、選別的消費の傾向がさらに進むとともに業界内の競争激化により、引続き厳しい状況が続くものと思われま。

このような経営環境の下、当社は、店舗のスクラップ・アンド・ビルドと既存店のリニューアルを強化推進し、多様化するお客様のニーズに対しては、アクセサリからジュエリーまで魅力的な商品展開を強化し、また、お客様から信頼される店舗運営に取り組み、利益率の向上を目指して参ります。

次期の通期連結業績予想につきましては、売上高334億（前年同期比1.8%減）、営業利益13億60百万円（同18.7%増）、経常利益12億60百万円（同20.3%増）、当期純利益5億30百万円（同223.2%増）を見込んでおります。

## (2) 財政状態に関する分析

当連結会計年度末のキャッシュ・フローは、現金及び現金同等物残高は前連結会計年度末の62億67百万円より11億86百万円増加し、74億54百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは18億44百万円のプラス（前年同期は4億29百万円のプラス）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益7億95百万円、減価償却費6億62百万円、たな卸資産の減少5億66百万円、売上債権の減少1億4百万円、固定資産除却損1億4百万円及び減損損失1億2百万円の資金増加と、法人税等の支払6億77百万円の資金減少によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の投資活動によるキャッシュ・フローは7億22百万円のマイナス（前年同期は2億59百万円のマイナス）となりました。これは主に、敷金保証金の回収5億22百万円の収入と、固定資産の取得9億54百万円及び敷金保証金の差入1億42百万円の支出によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の財務活動におけるキャッシュ・フローは65百万円のプラス（前年同期は2億29百万円のマイナス）となりました。これは主に、長期借入金の増加3億74百万円（純額）の収入と、配当金の支払3億1百万円の支出によるものであります。

(3) 利益分配に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社における利益分配につきましては、経営の重要課題の一つとして位置付け、株主を含む当社のような利害関係者に対しましても、業績又は成果に裏付けられた成果の配分を行うことを基本としております。従って、利益配当につきましても、これを基本とし、また今後の事業展開を十分に勘案し、内部留保とのバランスを考慮しつつ安定した配当を心がけてゆきたいと考えております。

当期の配当につきましては、上記の基本方針と、当期の業績及び現在の財務状況等を総合的に勘案し、1株当たり24円の期末配当を予定しております。

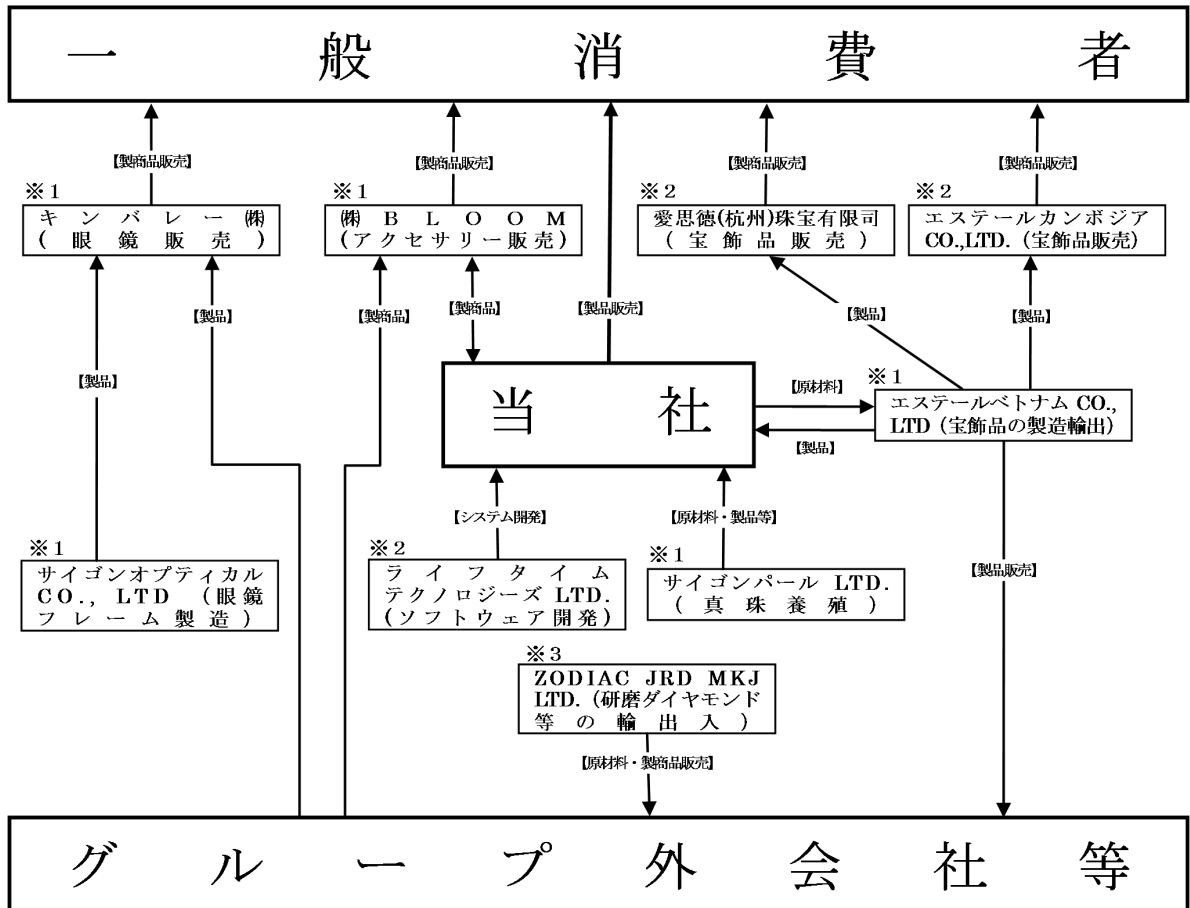
次期の配当につきましては、現時点では、1株当たり24円の期末配当を予想しております。

## 2. 企業集団の状況

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、As-meエステール株式会社（当社）、子会社9社（キンバレー㈱・谷口ジュエル㈱・㈱BLOOM・エステールベトナムCO.,LTD.・サイゴンパールLTD.・サイゴンオプティカルCO.,LTD.・ライフタイムテクノロジーズLTD.・愛思徳（杭州）珠宝有限公司・エステールカンボジアCO.,LTD.）及び関連会社1社により構成されており、事業内容は、指輪、ネックレス、ブレスレット、ピアス、イヤリング、アクセサリー、眼鏡等の製造及び販売を主に営んでおります。

なお、連結会社のセグメントの区分は、当社、エステールベトナムCO.,LTD.、㈱BLOOM及びサイゴンパールLTD.が宝飾品に属し、キンバレー㈱及びサイゴンオプティカルCO.,LTD.が眼鏡に属しております。

当社及び関係会社の当該事業に係る位置付けは、次のとおりであります。



(注) ※1 連結子会社

※2 持分法非適用非連結子会社

※3 持分法非適用関連会社

4 谷口ジュエル㈱は事業活動を休止しております。

なお、当期の主な関係会社の異動は以下のとおりであります。

・平成28年2月に、子会社であるエステールホンコンLTD. は解散を決議いたしました。

### 3. 経営方針

- (1) 会社の経営の基本方針、(2) 目標とする経営指標、(3) 中長期的な会社の経営戦略及び対処すべき課題  
平成26年3月期決算短信(平成26年5月13日開示)により開示を行った内容から重要な変更がないため開示を省略しております。

当該決算短信は、次のURLからご覧いただくことができます。

(当社ウェブサイト)

<http://www.as-estelle.co.jp>

(東京証券取引所ウェブサイト(上場会社情報検索ページ))

<http://www.jpx.co.jp/listing/co-search/index.html>

### 4. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、当社グループの事業の地域性及び当社の株主構成並びに同業他社との比較可能性の観点から日本基準を適用することとしております。

なお、今後につきましては、これら諸条件の推移を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めてゆく方針であります。

## 5. 連結財務諸表

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当連結会計年度 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,267	7,454
受取手形及び売掛金	2,550	2,445
商品及び製品	10,874	10,157
仕掛品	1,704	1,950
原材料及び貯蔵品	2,333	2,238
繰延税金資産	202	200
その他	209	313
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	24,141	24,759
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,475	3,679
減価償却累計額	△2,008	△2,109
建物及び構築物 (純額)	1,467	1,569
工具、器具及び備品	2,918	2,976
減価償却累計額	△2,247	△2,327
工具、器具及び備品 (純額)	671	648
土地	36	36
リース資産	108	108
減価償却累計額	△105	△106
リース資産 (純額)	3	2
その他	207	280
減価償却累計額	△129	△189
その他 (純額)	78	91
有形固定資産合計	2,257	2,348
無形固定資産		
	313	245
投資その他の資産		
投資有価証券	421	357
関係会社株式	30	26
繰延税金資産	556	577
敷金及び保証金	4,231	3,716
賃貸土地	53	53
その他	1,447	1,460
貸倒引当金	△1	△1
投資損失引当金	-	△4
投資その他の資産合計	6,741	6,186
固定資産合計	9,312	8,779
資産合計	33,454	33,538



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当連結会計年度 (平成28年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,774	4,743
1年内返済予定の長期借入金	3,961	3,843
未払金	1,071	878
未払法人税等	380	354
賞与引当金	379	383
その他	837	867
流動負債合計	11,405	11,071
固定負債		
長期借入金	6,463	6,956
繰延税金負債	19	11
役員退職慰労引当金	511	535
関係会社事業損失引当金	2	2
退職給付に係る負債	1,711	1,842
資産除去債務	73	70
その他	20	15
固定負債合計	8,803	9,433
負債合計	20,208	20,504
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,571	1,571
資本剰余金	3,384	3,384
利益剰余金	8,424	8,287
自己株式	△146	△146
株主資本合計	13,233	13,096
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55	37
為替換算調整勘定	△30	△48
退職給付に係る調整累計額	△13	△52
その他の包括利益累計額合計	12	△62
純資産合計	13,245	13,034
負債純資産合計	33,454	33,538

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)
売上高	33,778	34,000
売上原価	13,001	13,091
売上総利益	20,777	20,908
販売費及び一般管理費	19,739	19,761
営業利益	1,037	1,146
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	29	8
不動産賃貸料	5	4
為替差益	136	-
受取手数料	36	34
その他	6	13
営業外収益合計	214	61
営業外費用		
支払利息	154	107
為替差損	-	25
その他	38	27
営業外費用合計	192	160
経常利益	1,059	1,047
特別利益		
固定資産売却益	1	-
投資有価証券売却益	616	4
受取補償金	-	0
特別利益合計	618	5
特別損失		
固定資産除売却損	58	104
減損損失	69	102
店舗閉鎖損失	2	17
関係会社株式評価損	-	4
関係会社出資金評価損	-	25
投資損失引当金繰入額	-	4
特別損失合計	129	258
税金等調整前当期純利益	1,547	795
法人税、住民税及び事業税	800	632
法人税等調整額	25	△1
法人税等合計	825	630
当期純利益	722	164
親会社株主に帰属する当期純利益	722	164

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)
当期純利益	722	164
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△269	△18
為替換算調整勘定	36	△17
退職給付に係る調整額	△21	△39
その他の包括利益合計	△254	△74
包括利益	468	89
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	468	89

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,571	3,384	7,982	△146	12,792
会計方針の変更による累積的影響額			20		20
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,571	3,384	8,003	△146	12,812
当期変動額					
剰余金の配当			△301		△301
親会社株主に帰属する当期純利益			722		722
自己株式の取得					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計			421		421
当期末残高	1,571	3,384	8,424	△146	13,233

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	325	△67	8	266	13,058
会計方針の変更による累積的影響額					20
会計方針の変更を反映した当期首残高	325	△67	8	266	13,079
当期変動額					
剰余金の配当					△301
親会社株主に帰属する当期純利益					722
自己株式の取得					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△269	36	△21	△254	△254
当期変動額合計	△269	36	△21	△254	166
当期末残高	55	△30	△13	12	13,245

当連結会計年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,571	3,384	8,424	△146	13,233
会計方針の変更による累積的影響額					-
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,571	3,384	8,424	△146	13,233
当期変動額					
剰余金の配当			△301		△301
親会社株主に帰属する当期純利益			164		164
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計			△136	△0	△136
当期末残高	1,571	3,384	8,287	△146	13,096

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	55	△30	△13	12	13,245
会計方針の変更による累積的影響額					-
会計方針の変更を反映した当期首残高	55	△30	△13	12	13,245
当期変動額					
剰余金の配当					△301
親会社株主に帰属する当期純利益					164
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△18	△17	△39	△74	△74
当期変動額合計	△18	△17	△39	△74	△211
当期末残高	37	△48	△52	△62	13,034

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,547	795
減価償却費	617	662
減損損失	69	102
のれん償却額	22	22
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	0
投資損失引当金の増減額 (△は減少)	-	4
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	90	74
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	21	23
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13	3
受取利息及び受取配当金	△29	△9
支払利息	154	107
投資有価証券売却損益 (△は益)	△616	△4
固定資産除売却損益 (△は益)	56	104
関係会社株式評価損	-	4
関係会社出資金評価損	-	25
売上債権の増減額 (△は増加)	459	104
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△744	566
仕入債務の増減額 (△は減少)	20	△30
未払金の増減額 (△は減少)	△27	△99
未払又は未収消費税等の増減額	223	△122
その他	△146	287
小計	1,705	2,622
利息及び配当金の受取額	29	9
利息の支払額	△156	△109
法人税等の支払額	△1,148	△677
営業活動によるキャッシュ・フロー	429	1,844

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△53	△2
投資有価証券の売却による収入	716	44
子会社出資金の取得による支出	△96	-
固定資産の取得による支出	△925	△954
固定資産の売却による収入	22	-
敷金及び保証金の差入による支出	△225	△142
敷金及び保証金の回収による収入	383	522
保険積立金の積立による支出	△47	△47
その他	△34	△142
投資活動によるキャッシュ・フロー	△259	△722
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,010	-
長期借入れによる収入	5,380	4,800
長期借入金の返済による支出	△4,284	△4,425
社債の償還による支出	-	-
割賦債務の返済による支出	△10	△5
リース債務の返済による支出	△2	△1
自己株式の取得による支出	-	△0
配当金の支払額	△301	△301
財務活動によるキャッシュ・フロー	△229	65
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△55	1,186
現金及び現金同等物の期首残高	6,323	6,267
現金及び現金同等物の期末残高	6,267	7,454

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当連結会計年度から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当連結会計年度の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する連結会計年度の連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、当期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前連結会計年度については、連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる連結財務諸表に与える影響はありません。

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前連結会計年度(自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)

当社グループの報告セグメントは「宝飾品」及び「眼鏡」ですが、「眼鏡」の全セグメントに占める割合が低く、重要性に乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

## II 当連結会計年度(自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)

当社グループの報告セグメントは「宝飾品」及び「眼鏡」ですが、「眼鏡」の全セグメントに占める割合が低く、重要性に乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

区分	前連結会計年度 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)	当連結会計年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)
1株当たり純資産額	1,187円32銭	1,168円35銭
1株当たり当期純利益金額	64円74銭	14円75銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)	当連結会計年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	722	164
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	722	164
期中平均株式数(千株)	11,156	11,156



6. その他

役員の異動

該当事項はありません。